

FOR ADULT ONLY



Vol. 1. N2

ここは…？

典…

俺の
愛おしい典……

マスター
主上！

どうして
俺を裏切った？

え？

これほどに
愛していたのに





ゆるさない

快り取れ...
奪い尽くせ...

全てを
破壊してやる...

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ



おまえじゃないおまえじゃない
おまえじゃない……

トチュ……

たすけて……

ぬちゃあ

ポキ……



こんな形で
あの人と再会するなんて



夢か...



ごめんなさい.....っ



貪欲な者が
好きだ

物欲、名誉欲
支配欲、征服欲…
これまで多くの
欲望を肯定し
その末を見届けてきた

極限まで膨れ上がった
自尊心が破裂する瞬間は
何よりも甘美で

それは蜜のように
わたしの腹を満たした

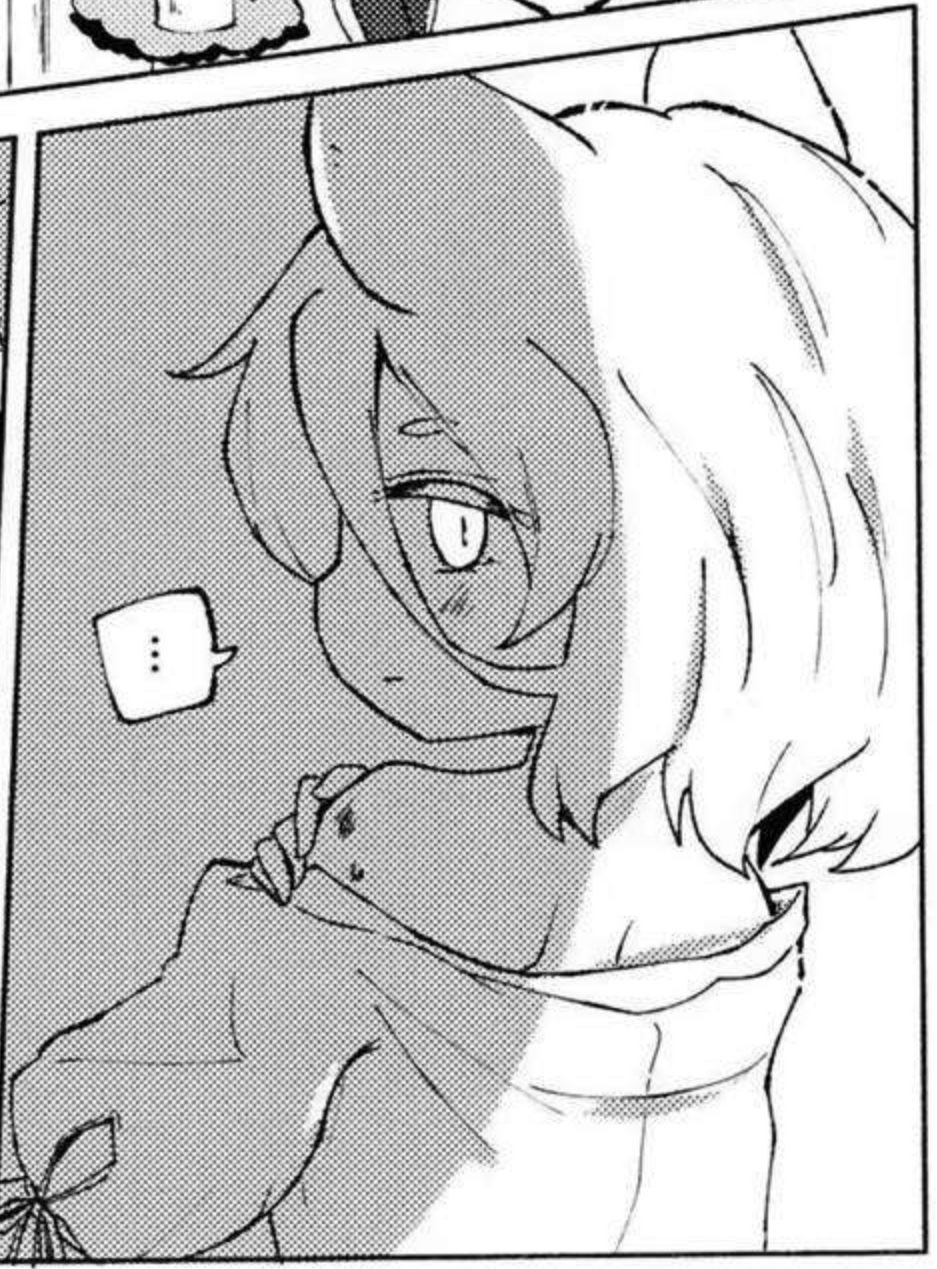
そして

新しく出会った
【御主人様】の欲望は
他の誰とも似ていなかった

鼻が曲がるくらい醜怪で
耳を塞ぎたくなるほど
悍ましく陰惨

それなのに

まるで
夜明けを待つ露草のように
美しく煌めいて
その輝きから
目を逸らすことができない



最近
丸くなったよねー

え、
太ったかなあ…

あ、いや
そうじゃなくて
雰囲気さが

カッコイイ彼氏が
できたとか？

やだなあ
そんなのあ
いらないっ
て！

でも
ツカサつて
飯綱丸様のこと
好きでしょ？

そういう顔してる

そ、そんなんじゃ
ないし…！

またまた
幸せオーラ
出しちゃつて

違いますっ！

それにしても
羨ましいな！
あの大天狗様の
直属って

そうかな…
なんか
面倒な人だよ

さうなの？

焼き物は鮎で
よかつたかしら？
水菓子も甜瓜を
用意したんだけど

ええ
ありがたく
頂きますわ



久しぶりね

彼女の
経過はどう？

元気にしてると
いいんだけど

従順でお利口
荒事から秘事まで
そつなくこなす…

極めて優秀な
管狐だね



われわれ
天狗への牽制
という意味では
至って有効だよ

みんな
得体のしれない狐に
ビクついてる

けれど

あんな
かわい仔から
目を逸らすなんて

ここに
盆暗ばかりね…
嘆かわしい

怯える顔がかわいい

戸惑う顔がかわいい

必死に獣の本能に抗って
獲物に食らいつきたいのを
我慢してる顔なんて
たまらないわ

なんて
愛おしいんだろうって



私は
期待しているのよ

あの子がいつ
この飯綱丸の
寝首を掻くのか

主君の頸動脈を
食い破って
どんな顔をするのか…

悲嘆して
泣くのかしら？
それとも哄笑？

そう考えるだけで
夜も眠れないの

いい趣味を
お持ちのようで…

そりゃあそうよ
こんな順調すぎる人生

悪いことでもしないと
退屈で死んじゃうわ

成程、産まれながらに
すべてに恵まれていた
あなたらしい
実に傲慢なお言葉だ

七代遊んでも
使い切れぬ財産

従順で決して
裏切らない部下と
数多の情人…

それらを手にしてなお
満足することがない
貪欲な女烏め

ふふ、でもあたしは
自分の力で何かを
手に入れたことがないの

だから
典が欲しい



あれは
我々が想像するより
ずっと邪悪で美しい

いずれは
この世界そのものを
破壊してくれるだろう

ところで：
貴方がわざわざ典を
送りこんできた理由は？

あら？
紹介状に
書かなかったかしら

結果をこの目で
確かめたいだけよ

交配実験
ヒトと、妖怪の――

くーだまーきさこんっ♡

わー！
ホントに真っ白だ！

犬走ちゃんと
仲いいの？

あたしらとも
お話ししようよー

飯綱丸様のお屋敷に
住んでるって本当？

エリートのお狐様は
あたし達と
おはなしするの嫌？

いい気味

ざまあみろ

前から
ムカついてたんだよねー
お高く留まっちゃって

あーあ
可愛い顔してたのにね
カワイソー

意地でも
悲鳴を上げないの
ウケるんだけどー

あたしらは
大天狗様へのお目通しも
叶わないのに

なんで
あんたみたいな薄汚い
狐野郎が…

ははッ

わかりきったことを
訊くのね



あれが典に
酷いことをした連中

あつちは典の
大切な友達

どっちかを

わかっています

わたしは穢い

狡い

途方もなく弱い

ちゃんと
扱えますから――





今すぐにして
あたし達
お友達でしょ？



主上…



よくやった

お前は
本当にいい仔ね

嘘ばかり。わたしが本当にいい子ならどうして大好きな人はみんな死んでしまったの？



脚、広げて？

あれの前で
犯してあげる

彼はいつも
『俺は天涯孤独だから
子供が欲しい、家族が欲しい』
と言っていた



典が大怪我をしたって
聞いたときね
すごくイヤな気分になったの

部下が負傷するなんて
よくあることなのに





典はいい仔ね

そして悪い仔

いけない仔

はしたない仔

歐欵く彼女はまるで

梯子の天辺で
途方に暮れている
幼子に見えた

私の前から
居なくならないで…



飯綱丸様は
何に怯えているのです？

っ！？



わたしは害為す狐で
あなたは清く正しい鳥の王

愚かで愛おしいひと

だからどうすれば
いいかなんて
簡単にわかりますよね？

すっし手を伸ばせば
星に手が届くのにな

こんなのは
よくあることなんですよ
初めてじゃあない





どうぞ
お召し上がり
ください

我が主上
メアドミナ

……その眼をやめろ……

そんな眼で
私を見るな……

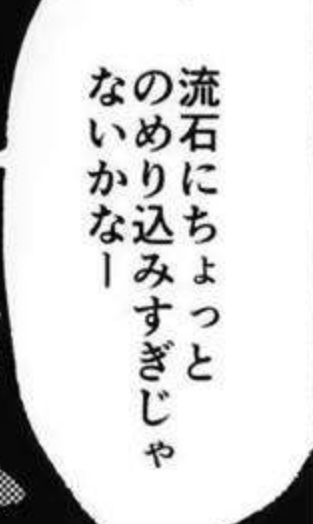
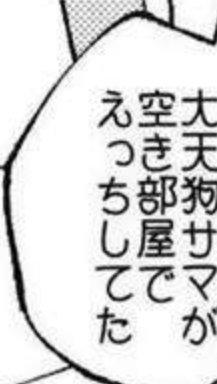
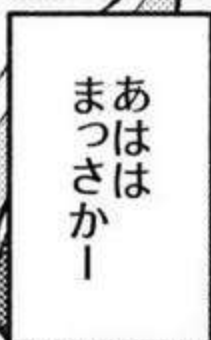
す
れ
い
ろ

ゴ
ム

よくできました

めぐむちゃん

わたし達を呪うかのように
雨はただ降り続ける



うーん
困った…

休暇をとれって
言われたけど

遊ぶ友達も
もういないんだよね…

今こそ
立ち上がって

お前自身の
世界の扉を
開ける時だ

しとしとと降る霧雨が
優しく、俺のために
唄ってくれてる

初めまして……
いえ、お久しぶりと
言うべきかしら

わたしは
個体識別番號
摩多羅隱岐奈

この幻想郷の
管理者です

貴方がわたしを
ここへ導いたのですね？
ひどいお方……

ご名答

流石は
優秀な御狐様

いいんです
これで

これ、お返しします
今のわたしには
必要ありませんから

……
力になれなくて
ごめんなさい……

そう……

もう
——どんな手を使っても
あの人には逢えない



私はミスマル

君のことは
話に聞いているよ

彼女に
会ったようだね



さようなら
わたしの大切な
思い出たち



：君は今でも
戸惑っているね？

恋と本能のはざままで



飯綱丸に
仕えているそう
じゃあないか

ケチでスケベで
性格最悪だと
評判の

そんなボロカス
で言われてるん
ですか!?

あ、いや
どこぞの秘神曰くだ
私が言った
わけじゃない



隠岐奈は
君の持ってきた変若水を使って
世界を再生させようとしている

遙か昔に喪った恋人に
もう一度逢うためにね

幻想郷はその為の
繭なんだ

……は

誰かを好きになる
なんてこと
ずっと忘れて
いたかったんです

どれだけ愛したって
最後には
裏切ってしまうから

あたしたち管狐は
呪われたまま、苦しんで
生きなきゃいけない

それは違うね

恋をして苦しむのも
夢に魘されるのも
君が優しい女の子だからさ

呪いなんかじゃない

これを
持っていくといい

これは…勾玉？

世界が君の敵だったとしても
何も恐れることはない

君にはこの世界を
変えるだけの力がある

そう、龍珠の勾玉は
魂を運ぶための
カートリッジだね

君の持っている
鉱石ラジオにも
同じものが入っているよ

君達の悪巧みを
私は歓迎するよ
菅牧典くん

本日は
取材へのご協力
ありがとうございます





あっは

それは申し訳ない

でも飯綱丸様にお仕えるのはわたしの天命であり

あなたのお仕事じゃあない



ああ、そうそう
素敵な歓迎パーティを
ありがとうございました

お腹に
赤ちゃんがいたんですよ
わたし



うそ、でしょ...
そんなの知らない...

あらあら
本当にご存じない？

情報は弱者にとって
最大の武器ですよ？

そんな...
ちよつと虐めて
追い出されたのに...



この世界は
過ちに満ちて穢い

罪深いのは
あなたかた
烏も狐も一緒なんですよ

苦しみから
開放して
さしあげましょう

射命丸様



ん
クダマキちゃん

はッ
?

ボーっとしてるけど
大丈夫?
お疲れ気味かなー?

メグムちゃんは
ねちっこいからねー

マジ絶倫って感じ?

適度に休みなね

そういや
文を見なかった?
連絡取れないんだけど

ああ

射命丸様なら
先日「おはなし」しましたけど
元気そうでしたよ

あら
ここにいたの典

わたしが解けて
やわらかい何かが
入り込んでくる

星なんて
片っ端から撃ち落として
悉く犯してやりますよ

痛い、苦しい
息ができません――

どうして
私の心を
踏み荒らすの？

その手で触れて、
頭を撫でてよ

あなたが嫌い

貴女が好き

憎い

怖い

本当に
莫迦な仔

愛してるわ

どうした？
力が入ってないぞ

裏切りは狐の
お家芸だろうに
今さら怖気づいたか？



わたしも
あなたが好き……っ

もう
怖いなんて
言わせない

あたしだって
典のことがつつと
怖かったんだから



どれだけでも
酷いことをしても
典は真直ぐに
私を見つめてくる……
それがたまらなく怖くて

それなのに
目が合うたびに
死にそうなくらい
ドキドキしてた

産まれて初めて
こんな気持ちになったの

本当は最初から
わかっていた

わたしはただ
この人の破滅願望を
叶えてあげたいんだ

わ、わたしも



ここに
典の小さな心臓が
あるのね

かわいい

かわいい

胸だけで
達しちゃった？

はあ

はあ

はあ

きん

くっついてる部分が
溶けちゃいそう

こんなの、体中で
キスしてるみたい…♡

おいで、典

好きっ♡

典っ

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん

きん





なあに
典

聴こえないわ？

いえ、なんでも
ないんです

好きになって
ごめんなさい



幸福は
星の形をしている

遠い昔
誰かが言っていたけな

眼、治らないね
ごめんね

いいんです

世界で一番
綺麗なものを
灼きつけましたから

きっとあなたが
わたしの幸福
だったんですね



◆後書
肉が食べたい

◆奥付
「セキバクススペースソニック vol.02」
発行日：20220605
発行者：レキシタイふのじ(MILKPOP)
mail：milkpop-bedlam@tg8.so-net.ne.jp

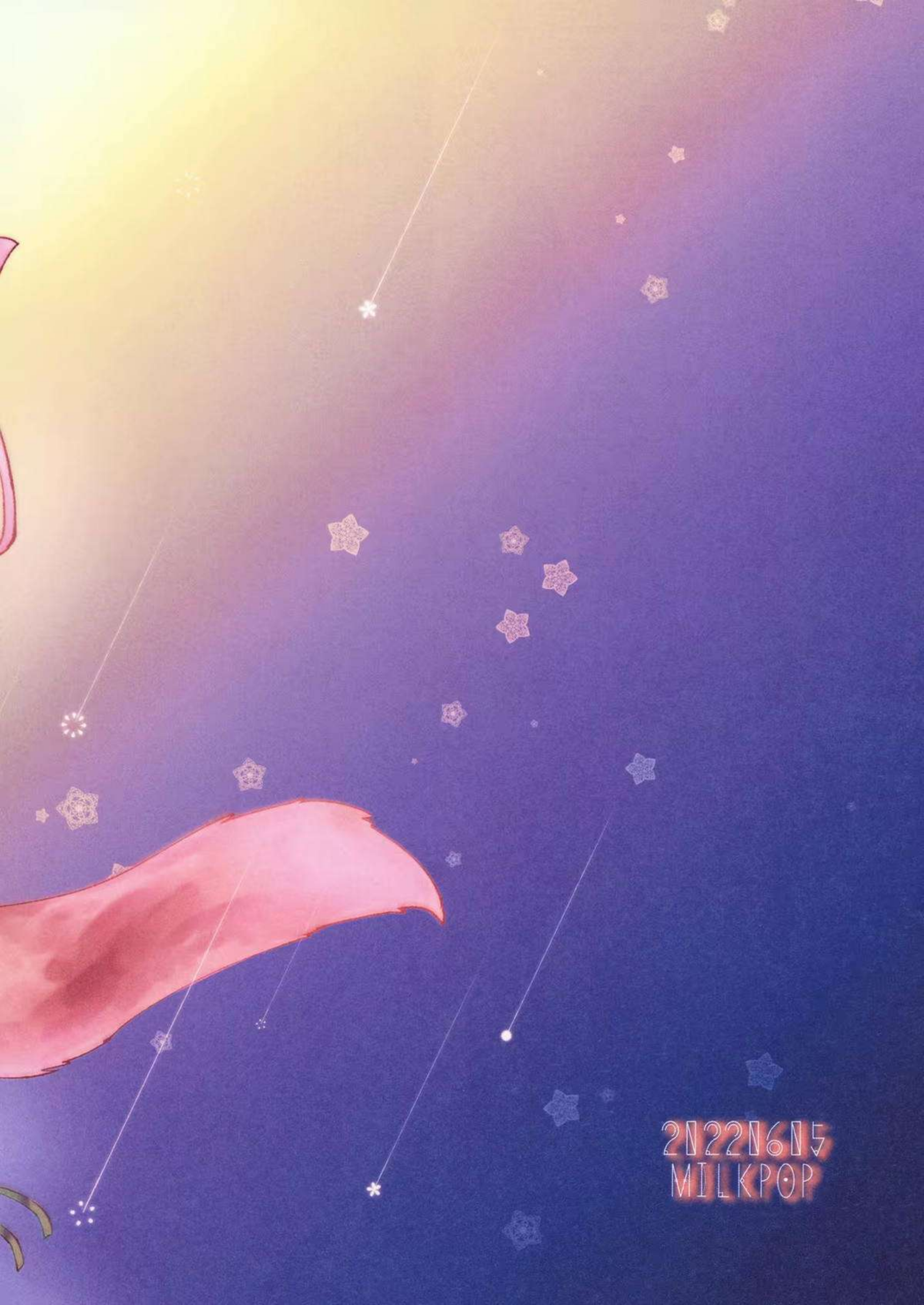
印刷：ねこのしっぽ様

◆スペシャルサンクス
みしまくん&フーポさん
ごころないあくまさん
みあず窓の仲間たち

◆BGM
『Space Sonic』 ELLEGARDEN



お星様、つかまえた



20220605
MILKPOP